

外航オーナーズ協会 第 55 回定時総会について

外航オーナーズ協会は、平成 25 年 6 月 19 日に第 55 回定時総会を開催し、事業報告等を原案通り承認したとともに、新役員を以下の通り選任致しました。

会 長	松永	武士	(八 馬 汽 船 (株)	代表取締役社長) (新)
副会長	乾	新悟	(乾 汽 船 (株)	代表取締役社長) (新)
副会長	安居	尚	(太 洋 日 本 汽 船 (株)	代表取締役社長) (新) ※
副会長	佐野	展雄	(玉 井 商 船 (株)	代表取締役社長) (再任)
監 事	伊川	重夫	(東 海 商 船 (株)	代表取締役社長) (再任)
監 事	海部	圭史	(極 東 海 運 実 業 (株)	代表取締役社長) (新)

※6 月 28 日就任予定

【本件に関するお問合せ先】

外航オーナーズ協会 事務局

(日本船主協会 企画部 石川・宇佐美・別所)

TEL : 03-3264-7174

また、当日の松永新会長挨拶は以下の通りです。

外航オーナーズ協会 第 55 回定時総会における松永新会長挨拶

平成 25 年 6 月 19 日

第 55 回定時総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

さて、わが国や米国経済には、ようやく回復の兆しが見えてきましたが、海運業界は、船腹の供給過剰などにより依然として厳しい状況にあります。当協会の会員企業が、諸外国の企業と伍し、多種多様な顧客ニーズに対して、良質且つきめ細やかなサービスを提供し続けていくためには、自助努力に加え、国際競争条件の均衡化、即ち、税制などのイコールフットディングの実現が急務であります。

ご案内の通り、昨年の平成 25 年度税制改正では、厳しい財政状況の中、日本船主協会とともに要望した船舶の特別償却制度が延長され、トン数標準税制が拡充されました。今年度は我々にとって必要不可欠な特定資産の買換特例（圧縮記帳制度）をはじめとする海運税制の維持・改善について、日本船主協会とともに取り組んでいく所存です。

ソマリア沖・アデン湾の海賊事件につきましても、その発生海域が各国による護衛が及ばないインド洋やアラビア海にまで拡大しています。一方、近年では西アフリカ・ギニア湾における海賊事件が増加する傾向にあります。当協会は、引き続き日本船主協会とともに、わが国政府に対して、海賊対処活動の継続・強化を含むあらゆる海賊対策を講じるよう求めてまいります。

また、スエズ・パナマ運河通航料問題、外航海運の GHG 排出削減問題、バラスト水問題、

PSCに係る諸問題などにつきましても、引き続き日本船主協会を通じ対応してまいります。

当協会は今後も、経済動向、海運市況の見通しなど関係する情報の収集および共有に努め、また、更なる会員の増加を図りつつ、会員間の意見交換、親睦の場として活動してまいりたく存じますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

以 上